2012
8
No.35

The Kashiwara Mihariban
かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782

教師と保護者の密な連携で「いじめ」を防ごう

柏原市会議員の濱浦佳子氏が、教員歴38年の奈良県会議員・阪口保氏と対談、「いじめ問題」について語り合った。

まずは教育委員会を充実させること

濱浦　柏原市では「いじめ問題はない」という見解を教育委員長が先日発表していたのですが、それが本当かどうか、私は非常に疑わしいと思っています。

阪口　38年間にわたり教員を続けて、生活指導にあたっていました。どんな学校でも、大なり小なりいじめはずっと存在しています。

学校は大人社会の縮図なので、大人社会でいじめがあれば、学校でも反映されます。柏原でもいじめがあるのではないでしょうか。

今回の大津の件は教育委員会、学校の対応のまずさに問題があります。もう少し対応が早ければ、こんなに騒がれることはなかったでしょう。教育長の態度がはっきりしない、学校もアンケートをきっちり開示しない、これが問題を大きくしました。

いじめの統計をとって「ゼロである」はありえません。自分が追求されたら困るので、教育委員長も学校の管理職も「ゼロ」と言うのです。それで教師が一人でかかえてしまう。それでは何も解決しません。

濱浦　教育委員会ってどんな役割をしているのですか？

阪口　もともと教育委員会は中立性が必要なのですが、実質的には形骸化している面があります。市長が自分の気に入った人を教育委員に任命するとか、自分の知り合いを教育長に任命するとか、教育委員会が機能していない側面があります。

柏原においても人格者を教育委員に任命しないといけないでしょう。任命権者は市長、議会が承認をするわけですが、市民も政治に関心を持って、りっぱな首長（市長）を選ぶ、その首長がりっぱな教育委員、委員長を選んでいく必要があります。

まず、いじめをなくすには教育委員会を充実させていくことです。優秀な人を入れて人材を確保するのが大事かなと思います。

濱浦　柏原でも教育長というのは天下りです。教育長は、キャリアがあって、人格者を迎えるべきだと思っています。財務部長から教育長になるというのはおかしいと思います。

教師の力量、連帯が大事である

阪口　いじめている側も悩んでいるところがあって、ただ叱責するだけでなく、精神状態を把握して的確な指導をしてあげることが大切です。いじめの発見はそれなりに簡単なのですが、教師自身の力量、対応が問われます。

いじめを減らしていくには、子どもたちが生き甲斐をもつような場を設定してあげることです。体育祭や文化祭にクラス一丸で取り組んでいくとか、いろいろな取り組みの中でクラスをまとめていく、学校経営、学級経営という大きな観点で考えていかないと、小さな範囲でいじめを考えていても解決がむずかしい場合もあります。

濱浦　先生方も非常に多忙で、昔と比べて雑用が増えているそうですね。生徒とゆっくり話し合える機会も少ないと聞きます。

教師と親の信頼関係を築こう

濱浦　先生も言い分があると思います。モンスターペアレンツっているでしょう。

阪口　担任の先生一人で対応できないときは、私もサポートしていました。暴力的な親もいます。難しい親が出てきたときに、管理職によっては「まあまあ、このへんでおさえて」とあやふやにし、「あやまっておきなさい」と言う人がいます。でもどんな親が来ても、自分の考えをはっきり言わないといけません。それで、どうもめようと、教師になったら覚悟してやらないといけないです。

濱浦　いじめる側、いじめられる側の親にどう対処するのですか？

阪口　いじめる側も巧みで、たとえば、歩いてきたらわざと足を踏んで「ごめん」とあやまるのです。踏んだ生徒は、ただ単に踏んでしまっただけなのに先生に怒られたと親に言う。そうしたら、いじめている側の親からも連絡が来ます。その状況を把握して、両方の親に説明をしないとだめです。そのためにも教師はきちんと家庭訪問をして普段から話しのできる、信頼できる教師でなければならないといけないのです。

濱浦　下手をすれば、逆にさらにいじめられるということもあるでしょう。

阪口　あります。教師が力量を持つ、学校としても対応、質を高めないと簡単には解決できない。いじめている側が権力者であれば校長室に出入りするし、校長もそこに顔を立ててしまう傾向が強いので、よっぽど教師が毅然として対応しないと、本当の解決策は出てきません。そういう意味で教師のもっと強い使命感はいるかと思います。

濱浦　保護者と先生のコミュニケーションが密になったら一番強いですね。

阪口　お互いに言いたいことは言って、教師も保護者も積極的に対話を求めていく。そういう中で対策が見つかっていく。単に生徒があかん、保護者があかん、先生があかんと批判しあってもなんの成長もしません。

阪口 保 氏 プロフィール

奈良県会議員。市民オンブズマン「見張り番生駒」代表幹事として、生駒市前市長の不正を暴き、生駒市から県会議員選挙にトップで当選。前職は東大阪市の中学校教師で生活指導にあたっていた。